



夢と誇りに溢れたまちづくりを目指して

いなば晃司

こうじ



いなば晃司後援会事務所のご案内

〒418-0052 静岡県富士宮市淀平町658-1
Tel : 0544 - 66 - 6013
Fax : 0544 - 66 - 6014
<http://inaba-koji.com/>

現場の 声を活かす

ご挨拶

富士山頂に雪がかかり今夏の猛暑を忘れてしまいそうな今日この頃、後援会の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。富士宮市議会9月定例会も閉会し、この議会だよりにて議会の報告をさせていただきます。

地球温暖化の影響から豪雨や台風に猛暑と私たちを取り巻く環境は以前に比べ大変厳しい状況にあり、今定例会においても小中学校におけるブロック塀の対策や、小中学校の空調設備整備のための補正予算が計上されるなど想定外の事態が起こっています。私自身も一般質問で取り上げましたが、実に7人もの議員が小中学校の空調設備整備に関する質問を一般質問の中で取り上げていたことは印象に残りました。想定外の事態に対処するための予算は、そもそも計画にないことから今後の富士宮市の財政に影響を与えることは必至であり尚且つ、少子高齢化が進む日本において各地方自治体が生き残っていくうえで独自に取り組まなければならないことは山積しています。今定例会終了後、ある新聞には国の小中学校の空調設備整備に対する予算を約800億円との記事が掲載されていました。富士宮市が期待していた国の補助金は約11億円でありましたが、とてもその金額には及ばない状況になりました。富士宮市もこの点に関しましては大変厳しい状況にあります。我々市議会議員は市当局のチェック機関の役割を担っています。とは言え、只々国の補助金が少ないからそれは駄目ではなく、こんな厳しい時こそ、市当局と議会が英知を結集させて乗り切っていく覚悟が求められているんじゃないかなあと、そんなことを思う今日この頃であります。

稲葉晃司

残念な一日のはじまり

昨年から、朝は富丘小学校の防犯パトロールの一環として、次男と小学校に通っています。グリーンのカップをかぶりベストを着て学校まで歩いていくだけのことですが、毎朝色々な出来事があります。すれ違う人たちに声をかけながら通学路の安全性などを確認し、忘れ物をして慌てて家に走っていく子、転んで泣いている子、喧嘩をしている子、学校に行くのが嫌で金之宮神社で座り込んでいる子に遭遇するなど色々あってやりがいを感じていたある日のこと、毎朝通学路で児童を見守っている青木区の区長さんから「稲葉くん」と呼び止められました。区長さんは風祭川を指さしています。その先には淀師区が8月30日に富丘小学校前の横断歩道に設置してくださった横断歩道を渡る際に使う新品の黄色い旗が川の中に落ちていました。区長さんと二人で、なんだかなあと落ちていた旗を見つめて残念な気持ちになった一日のはじまりでした。

富士宮市議会 9月定例会より 決算審査特別委員会

9月定例会は平成29年度の決算を審議する議会であり、3日間に及ぶ決算審査特別委員会が開催されました。中でも、世界遺産のまちづくり事業における浅間大社西側駐車場における土地所得に関する質疑、都市計画道路阿幸地青見線の土地所得について質疑が集中しました。市当局の説明は物件等移転費の算出根拠は国土交通省の基準にのっとって行われているものであり土地の取得金額は妥当であるとの答弁に対し、議会側はそれにしても高すぎやしないか、個人情報保護もあるが、土地取得の際の交渉記録等を議会に示すべきではないかといった内容でありました。その結果、議会側から今後、高額な土地購入（保障費を含む）には正確な説明と透明性を期す、予算執行においてはその計画を議会に示す。以上の二点において特段の配慮を求める付帯決議が出され賛成多数で可決されました。須藤市長はその所信表明で議会に対し丁寧に説明をして事業を進めていく旨を述べました。



9月定例会一般質問より

この夏の猛暑をうけて富士宮市でも小中学校にエアコンの整備を検討していることから以下の点について一般質問を行いました。

Q ランニングコストとイニシャルコストの見込みはいかほどか。エアコンの対応年数はどのように想定しているのか。エアコン更新期にかかる費用が富士宮市の今後の財政に及ぼす影響をどのように想定しているのか。

A. 教育部長

ランニングコストは使用時間を1日8時間とし、使用期間を7月から9月までの夏休みを除く40日間、暖房については1日8時間、使用期間を12月から2月までの冬休みを除く60日間として試算したところ約1448万円となり、それに定期点検の費用を足すと1年間で約1600万円の経費がかかると試算している。対応年数は15年から20年は使用できるものと考えている。

A. 財政部長

イニシャルコストについては、国庫補助や起債の活用により、導入経費に掛かる負担軽減を図っていきます。ランニングコストについては光熱費以外にも機械設備であることから、故障等の修繕も見込まれるので影響は少なくないと考えている。設備の更新については今後、施設を所管する教育部門と協議しその方策を検討していきたい。

Q 導入の期間は2年程度で考えているのか、それ以上も考えられるのか。

A. 須藤市長

この夏の暑さは来年も再来年も予想される。子どもたちに今の環境の下で教育を受けさせるということは忍びないので、1日も早くという思いである。最初は2年ぐらいで何とかしたいと答弁しましたが、そんな悠長なことも言っていないので1年ぐらいでできないかと考えている。しかし、補助金が付くかつかないか頭を悩ませながら、職員には何とせよやれということをやっているその事情を理解していただきたい。

稲葉

子どもたちの命がかかっていることなので、市長が言うように1日も早くやるのだということですから、補助金の問題等色々あるでしょうけれども、知恵を絞って取り組んでいただきたい。